

瑞々しく新鮮な解釈、
知性と感性が交錯する
21世紀の《アリアと30の変奏曲》

北山クラシック倶楽部 2017

アレクサンドル・タロー

ピアノ・リサイタル

J.S.バッハ:ゴルトベルク変奏曲 BWV988

J.S.Bach: Goldberg-Variationen BWV988

That Alexander Tarasov

Piano Recital

2018

3.22 (木) 19:00開演 (18:30開場)
*休憩なし

京都コンサートホール
アンサンブルホールムラタ

入場料: 全席指定 一般 ¥4,500 / 会員* ¥4,000

会員先行: 11/16 (木) 10:00 ~ 一般発売: 11/19 (日) 10:00 ~

* 京都コンサートホール・ロームシアター京都Club (会費: 1,000円) と京響友の会の会員が対象です。

主催: ヒラサ・オフィス

共催: 京都コンサートホール (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)・京都市

後援: 村田機械株式会社

* 未就学児の入場はご遠慮ください。

* 都合により内容等変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

チケットのご予約・お問い合わせ

京都コンサートホール 075-711-3231
(10:00~17:00 / 第1・第3月曜休)

24時間いつでも!

オンラインチケット購入 [京都コンサートホール](#)

プレイガイド

e+ (イープラス) <http://eplus.jp> (PC・携帯・スマートフォン)

ロームシアター京都 075-746-3201 (10:00~19:00 / 年中無休 * 臨時休館日を除く)

Alexandre Tharaud

Piano Recital

コンサート会場にいるときは、みんなが手と手を取り合って同じ体験をしている。そのときにはなにか、互いをゆるしあい、分かち合える。そして、平和がある。《ゴルトベルク変奏曲》をすべて弾き終わったあと、あるいは聴き終わったあとというのは、自分自身、あるいは他者をゆるし、ゆるしを与えることができる。そういったものがすべて終わりの静寂のなかに含まれている気がします。もっとも本質的なことはこの静寂のなかにあって、それ以外のことはべつになんでもなかったと思えるし、忘れられる。もしかして、自分に対してわるいことをしたひとをもゆるせる。自分自身、そんなに大した存在じゃないのではないかという気持ちになれるのです。

(『レコード芸術』2016年7月号インタビューより)

アレクサンドル・タロー(ピアノ) Alexandre THARAUD, piano

ヨーロッパを代表するピアニストのひとりとして、プログラムに冒険的なアプローチを取り入れ楽壇に新風を吹き込んでいる。昔の偉大な作曲家の作品に現代の作曲家の作品を組み合わせる構成した「ラモーへのオマージュ」「クーブランへのオマージュ」や、ポピュラーソングに発想を得た「ピアノソング」などのプログラムがあり、それらを通して多くの作品を初演してきた。同時に、協奏曲の世界初演も数多く行っている。

オーケストラとの共演も豊富で、リヨン国立管、フランス国立管等のフランスの主要オーケストラをはじめ、ロンドン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、RAI国立交響楽団、バイエルン放響、フランクフルト放響、チューリッヒ・トーンハレ管等と共演。

近年では、ケルン・フィルハーモニー、ロンドン・サウスバンク・センター国際ピアノ・シリーズ、パリのシャンゼリゼ劇場並びにシテ・ドゥ・ラ・ムジーク、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ワシントンDCのジョン・F・ケネディ・センター、ウィーン楽友協会などで演奏している。また、エクサン・プロヴァンス、ジャコバン・ピアノ・フェスティバル、ラ・ロック・ダンテロン、エディンバラ国際音楽祭、BBCプロムス、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン、ルール・ピアノ・フェスティバルなどの音楽祭にも参加している。

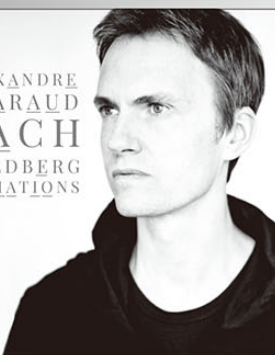
2014年6月までは、グルノーブルのMC2のレジデント・アーティストを務め、2013年11月にはパリのシテ・ドゥ・ラ・ムジークにおいて、自らの手による10日間のプロジェクト「Domaine Prive」を監督した。

CDも多数リリースしており、モーツァルト、J.S.バッハ、スカララティ、ラモー、ラヴェルなどの作品はいずれも高く評価されている。特にJ.S.バッハ「ゴルトベルク変奏曲」のCDは、その新鮮な解釈が絶賛されている。

アレクサンドル・タロー 好評発売中

ワーナーミュージック・ジャパン
オフィシャル・ホームページ / クラシック wmg.jp/cia/ 

ALEXANDRE THARAUD
BACH
GOLDBERG VARIATIONS



何年もの研究と研鑽を積み重ねた、1つの到達点
まさに満を持して録音した、タローのゴルトベルク!

J.S.バッハ: ゴルトベルク変奏曲

WPCS-13262
¥2,600(本体)+税

当時、激務のために不眠症に陥っていたカイザーリング伯爵の「眠れない夜を慰めるための曲」というリクエストにより、作られた「アリアとその変奏」で構成される「ゴルトベルク変奏曲」。バッハによる「クラヴィーア練習曲」の最終章でもあるこの曲は、バロックから古典派につながる架け橋ともなるような構造美あふれる佳曲。

全てのピアニスト、ピアノ音楽ファンが愛するこの曲に、満を持してアレクサンドル・タローが対峙する!

録音:
2015年2月&4月、エクサン・プロヴァンス、ダリウス・ミヨー音楽院

いつかの曲をレコーディングしたいと憧れていました。(アレクサンドル・タロー)
全ての必然が結実した待望のラフマニノフ・アルバム。

プレイズ・ラフマニノフ

WPCS-13559
¥2,600(本体)+税

ラフマニノフ:

1. ピアノ協奏曲 第2番 八短調 作品18
2. 幻想的小品集 作品3
3. ヴォカリーズ 作品34-14
4. 6手のためのピアノ小品(ロマンス、ワルツ)

共演:

アレクサンドル・ヴェデルニコフ(指揮)
ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団 -1
サビーヌ・ドゥヴィエル(ソプラノ) -3
アレクサンドル・メルニコフ、アレクサンダー・マツァー(ピアノ) -4

録音:

協奏曲 2016年1月、リヴァプール・フィルハーモニー・ホール
その他 2016年2月、サル・コロンヌ

